



DIC 懐かしシネマ

戦艦ポチョムキン

Battleship Potemkin

字幕



第一次ロシア革命の中の歴史的イベント
「ポチョムキン号の反乱」をテーマに
製作。モンタージュ技法を初めて取り
取り入れた名作。

- 監督=セルゲイ・M・エイゼンシュテイン
 - 出演=アレクサンドル・アントノフ
グリゴリー・アレクサンドロフ ほか
- 【1925年 ソ連作品 上映時間：74分 ※サイレント】

6/5(金)から
アクロスにて
前売券発売開始



上映日時

2009年7月24日(金)

午後2時30分～

(開場は上映開始の30分前からです)

上映会場

大東市立文化情報センターDIC21※地図は裏面にあります。

定員

48人(全席自由・前売り優先)

料金

前売り(チケット)：500円 当日：600円

- ★アクロスに直接ご来館もしくは、電話予約後、1週間以内にご来館ください。
- ★ご来館が難しい場合、郵便定額小為替と返信用切手を送付くだされば、郵送対応も致します。
- ★前売りで定員に達した場合は当日券が発行できない場合がありますのでお問い合わせください。



お申し込み・お問い合わせ 大東市立生涯学習センター アクロス

〒574-0036

大阪府大東市末広町1-301 ローレルスクエア住道サンタワー内 ※JR住道駅南側高層マンション内
TEL：072-869-6505 FAX：072-870-1405 e-mail：info@daito-across.jp

HP：「大東 アクロス」で検索

お願い：文化情報センターには専用の駐輪スペースがございません。
ご来館の際には、公共交通機関をご利用ください。

あらすじ



軍隊の敗北・農民の暴動・民族の反乱により革命気運の高まる 1905 年ロシア。

オデッサ港付近に停泊していた戦艦ポチョムキンの甲板では腐肉のスープをめぐって水兵たちが艦長ゴリコフ(V. バルスキー)らに対して反乱を起こす。争いの中、指導者ワクリンチュク(アレクサンドル・アントノフ)が艦長の銃に倒れ、このニュースがオデッサの民衆の心を大きくゆさぶり、帝政への不満を爆発させる…。

オールロケによる記録映画的手法と、視点の異なる複数のカットを組み合わせる意味を生み出す独創的な手法(「モンタージュ技法」)で表現されたこの映画は、後世の映画人に大きな影響を与えた。凶弾の中、母親の手を離れた乳母車が階段を転がり落ちていくシーンは「映画史上最も有名な6分間」と言われており、ブライアン・デ・パルマ監督は映画『アンタタッチャブル』の中で引用し、オマージュを捧げている。

日本においては、戦前は共産主義の精神が表現されているとみなされ上映禁止措置が取られたため、一般公開されたのは 1967 年のことである。

